

令和元年度
碧南市藤井達吉現代美術館
協議会資料

碧南市藤井達吉現代美術館
令和2年3月

目 次

1 協議事項

(1) 美術館運営方針及び事業概要

①美術館運営方針	1
ア 基本理念	
イ 基本的性格	
ウ 組織	
エ 予算	
オ 施設	

②事業概要	4
ア 企画展	
イ 常設展	
ウ 教育普及	
エ 収集・保管	
オ 調査研究	

(2) 令和元年度活動状況について

ア 企画展	
イ 常設展 「藤井達吉 人と作品展 31」	
ウ 常設展 「碧南の歴史と文化」	
エ 共催展等	
オ 教育普及	
カ 保存・修復	
キ 調査研究	
ク 所蔵作品貸出	
ケ 美術館駐車場用地取得事業	

(3) 令和2年度活動計画について

ア 休館に伴い企画展等は不開催	
イ 教育普及	
ウ 保存	
エ 調査研究	

オ 所蔵作品管理

2 報告事項

- (1) 令和元年度第1回、第2回収集部会の結果…………… 3 1
- (2) 入札工事不落札に伴うリニューアルオープン時期の延期について

1 協議事項

(1) 美術館運営方針及び事業概要

①美術館運営方針

ア 基本理念

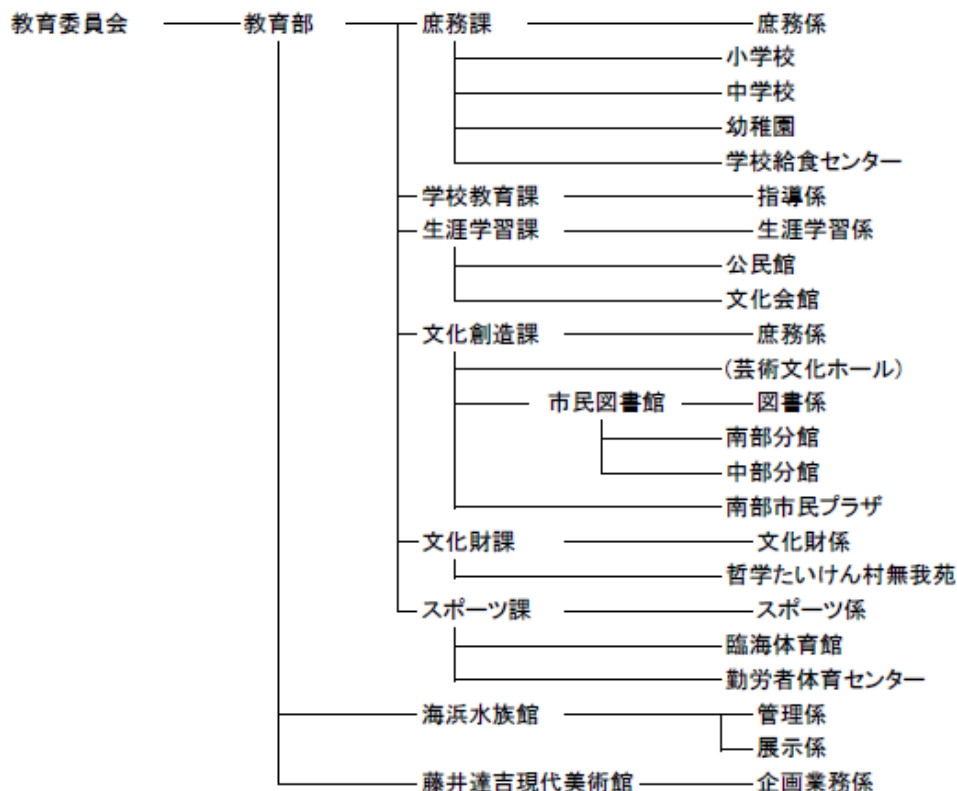
当地出身で日本近代工芸の先駆者のひとりであった藤井達吉の顕彰、子供たちを始め幅広い世代へ向けた教育事業、まちづくりの拠点施設としての役割という柱のもと、美術に関わる情報を発信し、生活の豊かさや心のゆとりをもたらす場として、市民に親しまれる美術館を目指します。

イ 基本的性格

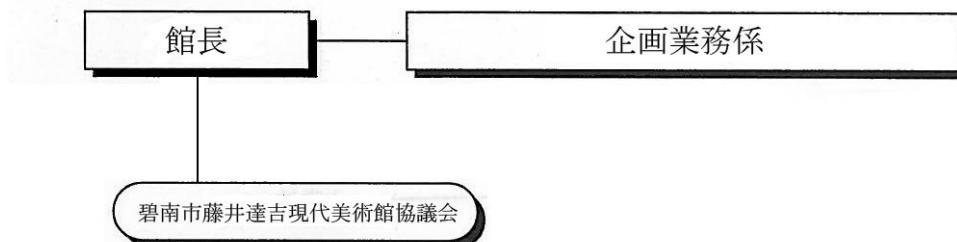
- (ア) 日本近代工芸の先駆者のひとりであった藤井達吉を顕彰します。
- (イ) 過去から未来までを常に視野に入れていた藤井達吉の精神を見出せる現代の作家を発掘し、若者に対する広場と創造の場として全国に発信します。
- (ウ) 新しい芸術を身近に提供することで市民の芸術文化の向上を支援し、子供たちの豊かで未知なる感性を伸ばして未来を見据える力を育てます。
- (エ) 地域の歴史や文化に焦点をあてた研究を行います。

ウ 組織

(ア) 行政組織図



(1) 組織体制



(ウ) 人員配置 (平成31年4月1日現在)

館長 非常勤特別職 1 人
 副館長 課長級 1 人
 企画業務係 係長級 1 人 (事務員)、係長級 1 人 (学芸員)、
 主事級 2 人 (学芸員)、臨時職員 2 人 (学芸員)、
 臨時職員 2 人

エ 予算

令和元年度予算状況 (当初)

(単位: 千円)

	美術館 事務管理 事業	美術館 協議会 運営事業	美術館 施設管理 事業	企画展 開催事業	美術品 運営事業	彫刻維持 管理事業	美術館 改修事業	駐車場 用地 取得事業	合計
予算	37,615	210	26,454	42,870	14,878	2,124	12,980	8,128	145,259
特定財源	0	0	198	10,212	0	0	0	0	10,410
一般財源	37,615	210	26,256	32,658	14,878	2,124	12,980	8,128	134,849

令和2年度予算要求状況

(単位: 千円)

	美術館 事務管理 事業	美術館 協議会 運営事業	美術館 施設管理 事業	企画展 開催事業	美術品 運営事業	彫刻維持 管理事業	合計
予算	28,312	210	24,943	1,331	15,861	2,534	73,191
特定財源	0	0	0	1	0	0	1
一般財源	28,312	210	24,943	1,330	15,861	2,534	73,190

オ 施設

建築概要

名称	碧南市藤井達吉現代美術館
所在地	愛知県碧南市音羽町一丁目1番地
敷地面積	2,143.16㎡
建築面積	820㎡
延床面積	2,425㎡
階数	地下1階、地上3階、塔屋1階
最高高さ	16.6m
工事種別	増築、用途変更
構造種別	鉄骨造、鉄筋コンクリート造
建築主	碧南市
設計監理	株式会社日本設計 名古屋支社
施工	(建築工事) 白竹建設株式会社 (電気設備工事) 衣浦電気工事株式会社 (空調設備工事) 株式会社桶元 (衛生設備工事) 株式会社榊原工業所

仕上げ	(屋根) 日本瓦一文字葺 シリコンポリエステル樹脂塗装カラーステンレス鋼板 (外壁) 鋼製430ルーバー 施釉セッコ器質タイル (建具) アルミサッシュ (展示室) 床:タイルカーペット 壁:石膏ボード+調湿建材、ガラスクロスエマルジョンペイント 天井:エクスバンドメタル (収蔵庫) 床:ビニル床シート 壁:片面アルミフィルム張(庫内側)石膏ボード+調湿パネル 天井:片面アルミフィルム張(庫内側)石膏ボード+ロックウール化粧吸音板
電気設備	(電力引込) 架空引込方式1回線 (受変電設備) 三相3線式6,600V(屋外閉鎖型) 幹線 照明 単相 3線式 200/100V 200KVA 動力 三相 3線式 200V 300KVA 電話 引込 10回線 防災 自動火災報知設備、非常放送(兼用)

空調設備	(熱源) エネルギー:電気 装置:空気熱源ヒートポンプ (空調) 個別方式(展示室1、2、収蔵庫)、カセット式 (換気) 中央式(1種)、個別式(1種、3種) (排煙) 自然排煙方式、機械排煙方式
------	--

衛生設備	(給水) 上水(引込口径40、直結給水) (給湯) 個別式(電気)、貯湯式 (排水) 屋内排水分流式 屋外合流 屋外排水下水道放流(汚水、雑排水) (消火) 屋内消火栓、窒素ガス消火設備
------	---

昇降機	機械室レス 1基 (1000kg積 11人乗 45m/min W1.6m×D1.5m×H2.6m 車椅子仕様・視覚障害者仕様)
-----	--

設備概要

展示保存環境

空調調和	区分	設定温度(目標値)	温度変化	設定湿度(目標値)	湿度変化
	展示室	22℃	±2℃	55%	±5%
	収蔵庫	22℃	±2℃	55%	±5%

照明:全て紫外線防止、調光可能。

区分	照明器具
展示室1、2、3	蛍光灯直接照明、スポットライト(着脱式)
展示ケース(展示室2)	蛍光灯、スポットライト(着脱式)
展示室4	スポットライト(着脱式)

作品展示:ワイヤーによる壁面展示、小型作品は壁面釘止め可能。
固定展示ケースのほか移動型展示ケース、移動型展示壁等保有。

区分	階数	床材	面積 m ²	天井高 m	床耐 荷重 kg/m ²	固定 壁長 m	可動 壁長 m	展示 ケース長 m
展示室1	2階	タイルカーペット	193	3.2~6.4	350	47.3	30.0	—
展示室2	2階	タイルカーペット	177	2.7	500	35.5	—	10.0
展示室3	1階	タイルカーペット	83	2.7	290	29.2	—	—
展示室4	B1階	タイルカーペット	104	2.6	500	26.7	—	—

収蔵・保管設備	区分	階数	備考
	収蔵庫1	3階	78m ²
	収蔵庫2	3階	70m ²
	一時保管庫	1階	19m ²
	荷解室	1階	56m ²
	搬入口	1階	3.0×3.0m
	昇降機	1台	兼用

教育普及等設備	区分	階数	備考
	多目的室	1階	96m ² 展示室使用可
	創作室	B1階	63m ²

防災設備・体制

防火	自動火災報知設備 屋内消火栓 窒素ガス消火設備(収蔵庫)
防犯	開館時には展示室内に常時監視員配置、閉館時には、機械監視警備。 監視カメラ(事務室でモニタ可能)

② 事業概要

ア 企画展

藤井達吉の顕彰にふさわしい企画のほか、美術の様々な領域を視野に入れて、優れた美術作品を市民に紹介していきます。また、地域の歴史や文化に焦点をあてた歴史系の企画展も定期的に行います。

<企画方針>

- (ア) 藤井達吉の創作活動を紹介する展覧会
- (イ) 藤井達吉の精神を反映した内容の展覧会
- (ウ) 地域の歴史や文化を顕彰する展覧会
- (エ) 市民の文化・教養の向上に資すると思われる展覧会

イ 常設展

藤井達吉に関わる作品及び資料の公開の場として運営します。また、地域に関わる歴史的資料の展示の場としても努めます。

ウ 教育普及

幅広い年代の人々に美術に親しんでもらえるよう、様々な教育普及事業に取り組み、美術情報の提供に努めます。学校教育をはじめ他の教育活動との連携を図っていきます。また、市民の創作活動の場として、市民ギャラリーも併設します。

エ 収集・保管

「市民の財産」といえるコレクションの形成に努め、その作品の恒久的な保存に努めます。

<収集方針>

- (ア) 藤井達吉の芸術を顕彰するに重要と思われる作品
- (イ) 藤井達吉の精神を見出せる作家の作品
- (ウ) 地域の歴史や文化を語るうえで重要と思われる作家の作品
- (エ) 市民の美術文化の向上に資すると思われる作品
- (オ) 上記の作品・作家を理解するうえで役立つ資料

オ 調査研究

美術館活動の充実を図るため、藤井達吉及び藤井と同時代の美術を中心として、国内外の美術に関することや、地域の歴史や文化に関する調査・研究に取り組んでいきます。

(2) 令和元年度活動状況について

ア 企画展

(ア) 企画展 没後 60 年 北大路魯山人 古典復興 現代陶芸をひらく

内 容	北大路魯山人（1883-1959）ゆかりの料亭として知られる八勝館が所蔵する作品と世田谷美術館の塩田コレクションを中心に、川喜田半泥子・石黒宗麿・荒川豊蔵から八木一夫にいたる同時代の陶芸家たちの作品に加え、彼らが学んだ中国大陸、朝鮮半島そして日本の古陶磁もあわせて展示し、昭和陶芸の豊穡な成果とその源流から未来を見つめるという趣旨で開催した。
会 期	平成 31 年 4 月 27 日（土）～令和元年 6 月 9 日（日） 39 日間
会 場	展示室1・2・3、多目的室
観覧者数	15,316人（1日平均393人）
主 催	碧南市藤井達吉現代美術館・碧南市・碧南市教育委員会、中日新聞社
共 催	NHK プラネット中部
特別協力	世田谷美術館、八勝館
出品点数	196 点（一部展示替を含む）
印 刷 物	ポスターB1, B2 判、チラシ A4 判両面、チケット 7.0×17.0cm、カタログA4判、鑑賞ガイドA4判8頁、出品目録A4判8頁
印 刷 物 デザイン	ポスター・チラシ・チケット・カタログ：ライブアートブックス
担 当	豆田誠路
関連事業	①記念講演会「私ハ先代菁華に教へられた一魯山人の陶磁器とその魅力」 日時：令和元年 5 月 18 日（土）14 時～15 時 30 分 講師：大長智広氏（京都国立近代美術館研究員） 会場：大浜まちかどサロン 参加者：83 人 ②記念講演会「魯山人の古典復興と食のうつわ—そのアレンジ力」 日時：令和元年 6 月 1 日（土）14 時～15 時 30 分 講師：大槻倫子氏（滋賀県立陶芸の森専門学芸員） 会場：大浜まちかどサロン 参加者：63 人

	<p>③ミュージアムワークショップ「シェフが伝える美食の極意」 日時：令和元年5月6日（月・祝）10時～13時 講師：栞原正宏氏（九重味淋 K庵 シェフ） 内容：イタリア料理の基本と和食器への盛り付け 参加者：21人</p> <p>④ミュージアム落語 日時：令和元年5月25日（土）18時～19時 出演：桂華紋氏 内容：茶碗を題材にした落語「はてなの茶碗」を上演 参加者：69人</p> <p>⑤ギャラリートーク（展示説明会、14時～） 説明者：豆田誠路（担当学芸員）</p> <p>第1回：平成31年4月27日（土） 45人 第2回：令和元年5月5日（日） 46人 第3回：令和元年5月11日（土） 20人 第4回：令和元年5月19日（日） 58人 第5回：令和元年5月25日（土） 45人 第6回：令和元年6月2日（日） 42人 第7回：令和元年6月8日（土） 60人</p>
<p>メディア等 掲載 （全50件）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『美術の窓』1月号「必見！今年の展覧会」特集内（生活の友社） ・『サライ』4月号「展覧会情報」（小学館） ・『月刊なごや』3月号「街のミニ情報」（北白川書房） ・SAISON CARD magazin『express』4月号「特集＝魯山人の嗜み」 ・『陶説』5月号「特集 北大路魯山人」（No. 794、日本陶磁協会） ・中日新聞・朝刊広告（スポーツ愛知面）（4月16日） ・中日新聞・朝刊広告（社会面半2段）（4月24日） ・中日新聞・朝刊三河版「魯山人の平皿など122点」（4月27日） ・中日新聞・朝刊広告（社会面半2段）（5月10日）「好評開催中」 ・中日新聞・朝刊県内版（5月16日）連載記事（上）

- ・中日新聞・朝刊県内版（5月17日）連載記事(下)
- ・中日新聞・朝刊西三河版（5月18日）「魯山人の味 堪能を」
- ・中日新聞・朝刊広告(社会面半2段)（6月2日）「好評開催中」
- ・中日新聞・夕刊文化欄（5月24日）森孝一氏「「北大路魯山人展」に寄せて」
- ・中日新聞・朝刊三河総合版（6月2日）「北大路魯山人展 祝1万人」
- ・朝日新聞・夕刊東海版「美術館・博物館」（4月23日、5月14日、28日）
- ・毎日新聞・朝刊【美術館・博物館ガイド】（4月24日、5月8日、15日、22日、29日）
- ・ナゴヤアートニュース4月号、5月号（東海アドエージェンシー）
- ・『月刊ギャラリー』「今月の展覧会」5月号、6月号（ギャラリーステーション）
- ・月刊ANET5、6月号（愛知芸術文化協会）
- ・中京テレビ「ストライク！」（5月6日放送）
- ・KATCH「KATCH TIME 30」（5月7日初回放送）
- ・KATCH「KATCH TIME 30」（5月24日初回放送）
- ・KATCH「KATCH TIME 30」（6月3日初回放送）（魯山人展1万人達成）
- ・Pitch FM ピっちスクエア「まちのまど」（生放送）（5月1日 13時35分～45分 豆田出演）
- ・Pitch FM Pitch HAPPY市場「まちかどリポート」（生放送）（5月3日 12時45分～12時55分 豆田出演）
- ・NHK名古屋「さらさらサラダ」（5月24日放送）（中部7県向け）
- ・『石水博物館だより』第15号（4月1日）「館蔵作品おでかけ展覧会情報」
- ・フリモかわら4月号、5月号、6月号（ハートフルメディア）
- ・ぶらりん西尾 5月号（ネット・フレンズ）
- ・東三河のタウン情報誌 はなまるプラス 6月号（プライズメント）
- ・おでかけガイド 愛知の博物館（愛知県博物館協会、4月）

	<ul style="list-style-type: none"> ・観光サイト「AICHI NOW」（愛知県観光協会） ・サイト「今見られる全国のおすすめ展覧会100」（KATYCOM） ・豊橋市美術博物館 友の会だより「風伯」104号（豊橋市美術博物館友の会、6月30日） ・日本工業新聞（7月31日） ・アートペーパー111号（名古屋市美術館、8月31日）「展評」 ・JR金山駅・刈谷駅ポスター広告 4月22日～6月9日
団体鑑賞	<p>豊橋市美術博物館友の会 38人（5月23日）</p> <p>「旬の会」（名古屋絵手紙の会）45人（5月30日）</p>

(イ) 空間に線を引く—彫刻とデッサン展

内 容	<p>彫刻家のデッサンは魅力に富んでおり、画家のデッサンにはない美しさがあります。彼らのデッサンは二次元でありながら、三次元とみなす感性のもと描かれています。紙面は空間であり、空間に引かれた線は対象の存在感やものの粗密を表現しているように見えるのです。</p> <p>本展では、橋本平八を起点として、柳原義達や舟越桂、青木野枝など、戦後から現代までに活躍した彫刻家約20名のデッサンと、それに関連する彫刻を展示し、その魅力と創作の秘密に迫りました。</p>
会 期	令和元年8月10日（土）～9月23日（月・祝） 38日間
会 場	展示室1～3・多目的室
観覧者数	7,388人（1日平均194.4人）
主 催	碧南市藤井達吉現代美術館、碧南市、碧南市教育委員会、彫刻とデッサン展実行委員会
共 催	中日新聞社、CBCテレビ
助 成	一般財団法人地域創造
協 力	タキヤ株式会社、株式会社中川ケミカル
出品点数	299点
印 刷 物	ポスターB2判、チラシA4判両面、チケット7.0×17.5cm、鑑賞ガイドA4判6頁、カタログB5判変型（21.0×14.7cm）
印 刷 物 デザイン	ポスター・チラシ・チケット・カタログ：藤田雅臣、藏本優（teguusu）
担 当	大長悠子

<p>関連事業</p>	<p>①本展企画者によるギャラリートーク 日時：8月10日（土）14時～15時 講師：土方明司氏（平塚市美術館館長代理）、江尻潔氏（足利市立美術館副館長）、木本文平（当館館長） 会場：展示室1～3、多目的室 参加者：35人</p> <p>②館長と語る「高垣勝康の仕事」 日時：8月24日（土）14時～15時 講師：高垣リミ氏（高垣勝康氏夫人）、木本文平（当館館長） 会場：展示室3 参加者：70人</p> <p>③館長と語る「原裕治の仕事」 日時：9月8日（日）14時～15時 講師：原眞弓氏（原裕治氏夫人）、木本文平（当館館長） 会場：展示室2 参加者：35人</p> <p>④ワークショップ「材に描く、材を彫る ～家をつくろう～」 日時：8月17日（土）10時～16時 講師：棚田康司氏（彫刻家、本展出品作家） 内容：作家が実際の制作で用いている樟の材木を使用し、参加者それぞれの小さな家を制作。材に直接鉛筆でデッサンし、のこぎりや鑿を使って彫りだした後、アクリル絵具で着彩して仕上げました。 対象：一般（中学生以上） 参加費：1,000円 会場：創作室 参加者：13人</p> <p>⑤ワークショップ「ビュートレス」 日時：8月25日（日）10時30分～12時30分、14時～16時 講師：松田るみ氏（アーティスト） 内容：「ビュートレス」は「風景（view）」を「なぞる（trace）」とつなげた造語で、窓から見える景色をガラス面になぞっていくワークショップ。本展で焦点をあてた、触覚で捉えた世界を視覚化する彫刻家のデッサンに対して、本ワークショップでは「見ること」を視覚化する試みとして提示しました。 会場：当館1階 喫茶コーナー</p>
-------------	---

	<p>参加者：80人</p> <p>⑥ギャラリートーク（展示説明会、14時～） 説明者：大長悠子（担当学芸員） 第1回：令和元年8月31日（土） 20人 第2回：令和元年9月14日（土） 28人 第3回：令和元年9月22日（土） 38人</p> <p>⑦高浜市やきものの里かわら美術館との連携事業 内容：本展と高浜市やきものの里かわら美術館で開催する「平面→立体→カラクリ展—秋山泰計の世界—」（7月6日～9月16日）は、彫刻家の平面（二次元）から立体（三次元）への展開についての視点や彫刻家の平面表現（デッサン）に注目した展覧会として共通し、地理的に近いことから両館が連携して以下の事業を開催しました。 ア 展覧会観覧料の相互割引・・・両館の企画展チケットを提示することで、観覧料を団体割引料金へ。（利用者：7人） イ スタンプラリー・記念品プレゼント・・・両館を訪れてスタンプを集めた子ども（中学生以下）を対象に、記念品をプレゼント。 （参加者：64人※当館でのプレゼント数）</p>
<p>メディア等 掲載 （全78件）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝日新聞・夕刊「美術館・博物館」（7月30日、8月27日、9月10日） ・毎日新聞・朝刊「美術館・博物館 催し」（8月7日、14日、9月4日、11日、18日） ・中日新聞・朝刊県内版「開会式」（8月10日） ・中日新聞・朝刊西三河版「ビュートレス」（8月26日） ・中日新聞・朝刊西三河版「企画展限定ランチ」（9月11日） ・中日新聞・朝刊県内版「連載・上」（9月3日） ・中日新聞・朝刊県内版「連載・下」（9月4日） ・中日新聞・夕刊文化欄「彫刻家のデッサン 空間に線を引く展に寄せて」（9月13日） ・NHK「日曜美術館・アートシーン」（足利会場展示風景／当館巡回情報）（初回放送6月30日） ・CBCテレビ「イッポウ！」（開会式）（8月9日放送） ・CBCテレビ「ANNニュース」（展覧会紹介）（9月13日放送） ・KATCH「KATCH TIME 30」（9月18日初回放送） ・Pitch FM Pitch HAPPY 市場「まちかどリポート」（生放送）（8月16日 12時45分～12時55分 大長出演）

	<ul style="list-style-type: none"> ・広報へきなん 7月15日号、8月15日号（表紙掲載）、10月1日号 ・碧南商工会議所会報7月号 ・かりや市民だより 8月1日号 ・広報あんじょう 8月1日号 ・広報たかはま 8月1日号 ・広報ちりゅう 8月1日号 ・広報にしお 8月1日号 ・市政だよりおかざき 8月1日号 ・広報とよた 8月1日号 ・広報みよし 8月1日号 ・広報こうた 8月1日号 ・金山総合駅B2ポスター広告 8月5日～9月23日 ・名鉄主要14駅及び碧南中央駅ポスター広告 会期中随時 ・中日新聞全2段広告（8月7日、23日、9月14日） ・毎日新聞全5段広告（9月8日、10日、11日） ・CBCラジオ広告 30回 会期中不定期放送 ・『おでかけガイド 愛知の博物館 2019.04⇒2019.09』 3月 ・『月刊ギャラリー』「今月の展覧会」7月号、8月号、9月号 ・『フリモかわら』8月号、9月号 ・名古屋のカルチャーWEBマガジン「OutermostNAGOYA」（9月2日～23日） ・観光サイト「AICHI NOW」（愛知県観光協会）
美術館学習	市内7小学校 5年生児童 730人

(ウ) ECHO／回向 第Ⅰ期 コレクション展Ⅰ 新収蔵作品を中心に

内 容	本展では、平成30年度に収蔵された作品を紹介しました。白木屋の専務取締役を務めた岡清蔵氏所蔵の大正期の藤井達吉の工芸品や継色紙、大正期の美術史を説明する新日本画研究グループ「赤曜会」のメンバー、小山大月、富取風堂、牛田鶏村、黒田古郷などの作品、計47点を展示しました。
会 期	令和元年10月18日（金）～11月17日（日） 27日間
会 場	展示室1
観覧者数	2,628人（1日平均97人）
主 催	碧南市藤井達吉現代美術館・碧南市・碧南市教育委員会

出品点数	47点
印刷物	ポスターB2判、チラシA2判両面、パンフレットA4判12頁、 出品目録A4判
印刷物 デザイン	ポスター・チラシ・パンフレット：プランク 中島浩
担当	浅野泰子
関連事業	<p>①「これまでのポスター」展 日時：会期中 内容：当館がこれまでに開催した企画展のポスターを通して、当館の歩みを振り返りました。 会場：当館2階廊下</p> <p>②ワークショップ「草を編む」 日時：令和元年10月19日(土) 14時～15時30分 講師：神戸千津子（当館教育普及担当学芸員） 参加者：15人</p> <p>③インスタレーション「草をつなぐ」 日時：令和元年10月20日(土) 9時30分～14時30分 講師：稲垣尚人（当館教育普及担当ティーチャー） 会場：美術館東側駐車場 参加者：35人</p> <p>④ギャラリートーク（展示説明会、14時～） 説明者：木本文平（当館館長）、北川智昭（当館特任学芸員） 第1回：令和元年10月27日(日) 3人 第2回：令和元年11月3日(日) 10人 第3回：令和元年11月9日(土) 8人 第4回：令和元年11月17日(日) 28人</p>
メディア 掲載記事 (全10件)	<ul style="list-style-type: none"> ・朝日新聞・夕刊【美術館・博物館】（令和元年10月15日） ・『月刊ギャラリー』「今月の展覧会」9月号、10月号、11月号（ギャラリーステーション） ・KATCH「KATCH TIME 30」（令和元年10月17日初回放送）

	<ul style="list-style-type: none"> ・Pitch FM「まちのまど」（生放送）（令和元年10月23日 13時35分～13時45分 北川出演） ・Pitch FM Pitch HAPPY市場「まちかどりポート」（生放送）（令和元年11月1日 12時45分～12時55分 安藤出演） ・フリモかわら11月号（ハートフルメディア） ・観光サイト「AICHI NOW」（愛知県観光協会） ・「西三河ぐるっとナビ」（西三河広域観光推進協議会）
美術館学習	市内中学1年生 805人

(エ) ECHO/回向 第Ⅱ期 コレクション展Ⅱ

「人のかたち」をみつめて/片山照子・繁コレクション

内 容	本展では、「人のかたち」と題して当館所蔵品の中から画家や彫刻家が捉えた多彩な人の姿・かたちの作品全 39 点を紹介しました。「片山照子・繁コレクション」では、平成 25 年に片山夫妻からご寄贈いただいた約 600 点に及ぶ資料群から選りすぐりの 57 点を展示しました。
会 期	令和元年 12 月 21 日（土）～令和 2 年 2 月 24 日（月・祝）52 日間
会 場	展示室1
観覧者数	3,024人（1日平均58.1人）
主 催	碧南市藤井達吉現代美術館・碧南市・碧南市教育委員会
出品点数	96件
印刷物	ポスターB2判、チラシA2判両面、出品目録A4判
印刷物 デザイン	ポスター・チラシ・パンフレット：プランク 中島浩
担 当	安藤里恵
関連事業	<p>①「これまでのポスター」展 日時：会期中 内容：当館がこれまでに開催した企画展のポスターを通して、当館の歩みを振り返りました。</p> <p>②ワークショップ「Let's Make A Drifting Secret Cabin!!!」 日時：令和 2 年 1 月 12 日(日) 10 時～16 時 講師：占部史人氏（アーティスト） 会場：当館地下 1 階創作室</p>

	<p>参加者：4人</p> <p>③ワークショップ「てらまちで撮る写真」 日時：令和2年2月1日(土) 14時～16時 講師：大長悠子（当館学芸員） 対象：小学生以上 参加者：1人</p> <p>④ワークショップ「本を直そう」 日時：令和2年2月8日(土) 10時～12時 講師：安藤里恵（当館学芸員） 対象：小学生以上 参加者：4人</p> <p>⑤ワークショップ「碧南 やって美りん！」 日時：令和2年2月23日(日) 10時～15時、24日(月・祝) 10時～14時 講師：野村佐紀子氏（写真家）、渡辺英司氏（アーティスト） 対象：小学生以上 参加者：14人</p> <p>⑥レクチャー「当館のこれまでの活動と今後の展望」 日時：令和2年2月24日(月・祝) 16時～17時 講師：木本文平（当館館長） 会場：美術館ロビー 参加者：200人</p> <p>⑦記念コンサート（会場は美術館ロビー） 日時：令和2年2月24日(月・祝) 11時～11時30分、17時～17時30分 出演：磯貝充希氏（サクソフォン奏者） 参加者：午前 57人、午後 98人</p>
<p>メディア 掲載記事 (全17件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝日新聞夕刊【美術館・博物館】（令和元年11月20日、令和2年1月8日、1月15日、1月29日、2月5日、2月19日夕刊） ・『月刊ギャラリー』「今月の展覧会」12月号、1月号、2月号（ギャラリーステーション） ・Pitch FM Pitch HAPPY市場「まちかどリポート」（生放送）（令和元年12月25日 12時45分～12時55分 北川出演） ・KATCH「KATCH TIME 30」（令和2年1月24日初回放送）

	<ul style="list-style-type: none"> ・Pitch FM「まちのまど」(生放送) (令和2年2月12日 13時35分～13時45分 安藤出演) ・フリモかわら12月号、2020年1月号(ハートフルメディア) ・ナゴヤアートニュース 12月号、1月号、2月号(東海アドエージェンシー)
--	--

(オ) 野村佐紀子写真展 “GO WEST”

内 容	野村佐紀子は、人物や男性ヌードなどを撮影した、静謐な表現で知られる写真家です。本展のタイトル“GO WEST”は、野村の写真に導かれ、西へと旅する展覧会の構成を伝えるもので、会場では故郷・山口を起点に、台湾、中国・ハルピン、インド、パリなど、旅先で撮影された写真や、展覧会のために碧南で取材した新作を巡っていただきました。
会 期	令和元年12月21日(土)～令和2年2月24日(月・祝)52日間
会 場	展示室2・4・多目的室
観覧者数	3,146人(1日平均60.5人)
主 催	碧南市藤井達吉現代美術館・碧南市・碧南市教育委員会
協 力	NHK プラネット中部、AKIO NAGASAWA GALLERY、artspace AM、the amana collection/株式会社アマナ、九州産業大学美術館、c、女子美術大学、親鸞仏教センター、名古屋ビジュアルアーツ、B GALLERY
出品点数	290件
印刷物	ポスターB2判、出品目録A4判両面4頁
印刷物 デザイン	ポスター：プランク 中島浩
担 当	北川智昭
関連事業	<p>①講演会 ※外部機関との連携事業 日時：令和元年11月15日(金) 14時～15時30分 講師：野村佐紀子氏(写真家) 対象：全校学生 会場：女子美術大学(神奈川県相模原市) 参加者：204人</p> <p>②レクチャー ※外部機関との連携事業 日時：令和元年12月11日(水) 13時30分～15時 講師：野村佐紀子氏</p>

	<p>対象：名古屋ビジュアルアーツ写真学科学生 会場：名古屋ビジュアルアーツ（名古屋） 参加者：84人</p> <p>③展覧会展示作業ボランティア ※外部機関との連携事業 日時：令和元年12月15日～20日 対象：名古屋ビジュアルアーツ写真学科学生 会場：当館 参加者：12人</p> <p>④レクチャー「清沢満之の信と知をめぐって」 日時：令和元年12月21日（土） 14時～15時30分 講師：長谷川琢哉氏（親鸞仏教センター研究員） 会場：大浜まちかどサロン 参加者：49人</p> <p>⑤アーティスト・トーク 日時：令和元年12月22日（日） 14時～15時 講師：野村佐紀子氏 会場：美術館展示室2・4・多目的室 参加者：42人</p> <p>⑥ギャラリートーク（展示説明会、14時～） 説明者：北川智昭（担当学芸員） 第1回：令和元年12月24日（火） 2人 第2回：令和2年1月13日（月・祝） 1人 第3回：令和2年2月15日（土） 14人</p>
<p>メディア 掲載記事 （全43件）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『アサヒカメラ』2020年1月号（94号）「言葉で表わせない写真だけの何か 公立美術館で初の大規模展がはじまる野村佐紀子さんに聞く」（池谷修一文・写真、朝日新聞出版） ・『芸術新潮』2019年12月号「展覧会案内」（新潮社） ・『美術の窓』2019年12月号「展覧会案内」（生活の友社） ・『月刊ギャラリー』2020年1月号「展覧会案内」（ギャラリーステーション） ・『Them magazine』2020年2月号別冊（27号）「COMING UP; SAKIKO NOMURA GO WEST」（Righters） ・『フォトテクニク デジタル』2020年2月号（145号）「Photo Exhibition」（幻光社） ・『pen』2019年12月15日号「PEN SELECTION 野村佐紀子 写真展 “GO

	<p>WEST”」（CCC メディアハウス）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『広報へきなん』2019年12月1日号、12月15日号、2020年1月1日号、1月15日号、2月1日号 ・『ナゴヤアートニュース』12-1月号「展覧会紹介」（東海アドエージェンシー） ・『フリモかわら』2019年12月号、2020年1月号（ハートフルメディア） ・『フィガロ』12-1月号「展覧会紹介」（東海アドエージェンシー） ・読売新聞オンライン「静けさの中、浮かび上がる境界線 野村佐紀子 写真展 “GO WEST”」（12月2日～） ・中日新聞・朝刊三河版「わたしが編集長 碧南の生と死 感じ撮る」（福澤和義記者、12月29日） ・中日新聞・夕刊文化・芸能欄、「死への旅路 見つめる」（宮崎正嗣記者、1月25日） ・読売新聞・朝刊文化欄「哀切感 ロードムービーの趣 写真家・野村佐紀子さん個展」（2月6日） ・毎日新聞・夕刊「美術館・博物館」（11月20日、1月8日、1月15日、1月29日、2月5日、2月19日） ・たんぽぽニュース「モノトーンを基調とした作品 野村佐紀子写真展」（2月8日） ・Pitch FM Pitch HAPPY 市場「まちかどリポート」（生放送）（12月25日12時45分～12時55分 北川出演） ・金山総合駅ポスター掲示（B1ポスター2連貼り）（12月23日～2月23日） ・美術手帖ウェブ「生と愛の本質を考え直す。野村佐紀子の初美術館個展『GO WEST』が碧南市藤井達吉現代美術館で開催」（11月11日～）（美術出版社） ・SHOOTING「野村佐紀子写真展 “GO WEST”」（11月25日～）（ツナガリ） ・朝日新聞デジタル「静けさの中、浮かび上がる境界線 野村佐紀子写真展 “GO WEST”」（12月2日～）（朝日新聞社） ・IMA ONLINE「野村佐紀子『GO WEST』展、碧南で制作した新作含む約290点を展示」（12月5日～）（アマナ） ・SWITCH ONLINE「写真家・野村佐紀子による公立美術館での最初の個展 “GO WEST”」（12月10日～）（スイッチ・パブリッシング） ・美術展ナビ「野村佐紀子写真展『GO WEST』」（12月13日～）（読売
--	---

	<p>新聞社)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FIGARO 「写真家・野村佐紀子、西への旅。」 (12月13日～) (CCCメディアハウス) ・ LittleMore 「野村佐紀子 写真展 “GO WEST” 」 (12月17日～) (LittleMore) ・ HIGHSNOBIETY 「野村佐紀子 『GO WEST』、美術館で初となる個展開催」 (12月17日～) (HIGHSNOBIETY) ・ ART iT 「野村佐紀子 『GO WEST』 @碧南市藤井達吉現代美術館」 (12月21日～) (アートイット) ・ 共同通信(web) 「意志に関係なく淡々と」 (12月27日～) (共同通信社) ・ OutermostNAGOYA 「野村佐紀子写真展 “GO WEST” 碧南市藤井達吉現代美術館」 (12月28日～) (OutermostNAGOYA) ・ WEB・ときの忘れ物 「大竹昭子・迷走写真館」 (1月1日～) (ときの忘れ物) ・ WEB・Art Space 「回向第2期野村佐紀子写真展 “GO WEST” 」 (1月14日～) (DNPアートコミュニケーションズ)
--	---

(カ) ECHO/回向 第1期

歴史系企画展 没後100年 服部長七と近代産業遺産展

(文化財課予算対応)

内 容	碧南出身で「長七たたき(人造石)」を開発した服部長七(1840-1919)の没後100年を記念した企画展。特に「長七たたき」を中心とした服部長七の事績を紹介した。長七が復興に尽力した岩津天満宮の所蔵品を中心に、長七が手がけた土木遺産等のパネルと共にご覧いただいた。持ち前の才覚を花開かせ、土木工事の専門家として近代日本の土木技術に重要な役割を果たした長七の事績の一端をご覧いただいた。
会 期	令和元年10月18日(金)～11月17日(日) 27日間
会 場	展示室2
観覧者数	2,628人(1日平均97.3人)
主 催	碧南市藤井達吉現代美術館・碧南市・碧南市教育委員会
協 力	碧南市文化財保護審議会
出品点数	31件40点
印 刷 物	ポスターB2判、チラシA2判両面、パンフレットA4判12頁、 出品目録A4判

印刷物 デザイン	ポスター・チラシ・パンフレット：プランク 中島浩
担 当	豆田誠路
関連事業	<p>①ワークショップ「長七たたきをつくろう！」 日時：令和元年10月26日(土) 14時～15時30分 講師：稲垣尚人（当館教育普及担当ティーチャー） 会場：当館地下1階 創作室 参加：13人</p> <p>②記念講演会「日本の近代化を進めた服部長七と人造石工法（長七たたき）」 日時：令和元年11月2日(土) 14時～15時30分 講師：天野武弘氏（愛知大学中部産業研究所研究員、産業考古学会会長） 会場：大浜まちかどサロン 参加者：48人</p> <p>③対談「服部長七の波乱に満ちた生涯を語る」 日時：令和元年11月16日(土) 14時～15時30分 話し手：服部憲明氏（岩津天満宮宮司） 司会：浅井久夫氏（市文化財保護審議会委員） 会場：大浜まちかどサロン 参加：36人</p> <p>④ギャラリートーク（展示説明会、14時15分～） 説明者：豆田誠路（担当学芸員） 第1回：令和元年10月27日(日) 3人 第2回：令和元年11月3日(日) 12人 第3回：令和元年11月9日(土) 7人 第4回：令和元年11月17日(日) 14人</p>
メディア 掲載記事 (全15件)	<ul style="list-style-type: none"> ・KATCH「KATCH TIME 30」（令和元年7月17日放送） ・中日新聞・朝刊【人造石で補強の堤防発見】（令和元年7月18日） ・テレビ愛知「ゆうがたサテライト」【地元再発見 碧南の左官職人の“長七たたき”】（令和元年7月30日放送） ・KATCH「KATCH TIME 30」【特集 服部長七没後100年 大発見！前浜新田護岸人造石遺構】（令和元年7月31日初回放送） ・朝日新聞夕刊【美術館・博物館】（令和元年10月15日） ・矢作新報【ぶんかの定点観測 105】（令和元年10月18日）

	<ul style="list-style-type: none"> ・中日新聞朝刊（西三河版）【碧南・服部長七展】（令和元年10月19日） ・月刊ギャラリー9月号、10月号、11月号（ギャラリーステーション） ・Pitch FM「まちのまど」（令和元年10月23日） ・Pitch FM「Pitch HAPPY 市場」まちかどリポート（令和元年11月15日） ・フリモかわら11月号（ハートフルメディア） ・愛知の公式観光ガイドサイト「Aichi Now」（愛知県観光協会） ・サイト「西三河ぐるっとナビ」（西三河広域観光推進協議会）
美術館学習	市内中学1年生 805人

イ 常設展 「藤井達吉 人と作品展 31」（16,801人）

30 第Ⅷ期 ※昨年度からの続き	会 期：令和元年4月2日（火）～14日（日）12日間 会 場：展示室3 展 示 数：15点 観覧者数：99人（無料）（1日平均8.3人）
第Ⅰ期	会 期：令和元年4月16日（火）～6月9日（金）49日間 会 場：展示室4 展 示 数：15点 観覧者数：8,704人（無料）（1日平均177.6人）
第Ⅱ期	会 期：令和元年6月15日（土）～8月4日（日）44日間 会 場：展示室3 展 示 数：15点 観覧者数：1,575人（無料）（1日平均35.8人）
第Ⅲ期	会 期：令和元年8月10日（土）～9月23日（月・祝）38日間 会 場：展示室4 展 示 数：14点 観覧者数：3,931人（無料）（1日平均103.4人）
第Ⅳ期	会 期：令和元年9月29日（日）～11月10日（日）36日間 会 場：展示室3 展 示 数：16点 観覧者数：1,426人（無料）（1日平均39.6人）
第Ⅴ期	会 期：令和元年11月13日（水）～12月15日（日）29日間 会 場：展示室3 展 示 数：17点

	観覧者数：1,066人（無料）（1日平均36.8人）
--	----------------------------

ウ 常設展 「碧南の歴史と文化」 （会場：地下1階情報コーナー展示ケース）

第Ⅰ期	会 期：平成31年4月6日（土）～令和元年6月30日（日） 70日間 内 容：碧南の古文書11「近藤坦平旧蔵資料 Part1」
第Ⅱ期	会 期：令和元年7月6日（土）～9月29日（日） 66日間 内 容：碧南のできごと5「伊勢湾台風60年」
第Ⅲ期	会 期：令和元年10月5日（土）～12月28日（土） 69日間 内 容：碧南のできごと6「大浜陣屋設置250年」
第Ⅳ期	会 期：令和2年1月11日（土）～2月24日（月・祝） 39日間 内 容：碧南の人物9「俳人 中根樸堂」

エ 共催展等

(ア) ワークショップ作品展

会 期	令和元年6月22日（土）～7月21日（日） 26日間
会 場	展示室4
観覧者数	674人（無料）（1日平均25.9人）

(イ) 第12回碧南文化協会選抜美術展

会 期	令和元年6月29日（土）～7月7日（日） 8日間
会 場	展示室1・2
観覧者数	1,271人（無料）（1日平均158.9人）

(ウ) HEKINANからそれぞれのスピリッツ展XI

会 期	令和元年9月29日（日）～10月14日（月・祝） 13日間
会 場	展示室1・2
観覧者数	719人（無料）（1日平均55.3人）

(エ) 第32回碧南市野外彫刻コンテスト入賞作品展

会 期	令和元年11月23日（土）～12月15日（日） 20日間
会 場	展示室4
観覧者数	564人（無料）（1日平均28.2人）

(オ) 碧南ビエンナーレ

会 期	令和元年11月23日（土）～12月15日（日） 20日間
会 場	展示室1・2

観覧者数	1,899人（無料）（1日平均95.0人）
------	-----------------------

(カ) ARTIST JAPAN作品展「ROOTS」※市民ギャラリー貸室事業

会 期	令和元年7月13日（土）～7月28日（日） 14日間
会 場	展示室2
観覧者数	1,070人（無料）（1日平均76.4人）

オ 教育普及

(ア) 子どもワークショップシリーズ（対象：小学生、会場：創作室）

(289人)

1	平成31年4月13日（土）	つつむ・むすぶ（6人参加）
2	平成31年4月14日（日）	つつむ・むすぶ（13人参加）
3	令和元年5月18日（土）	紙粘土で作る松花堂弁当（14人参加）
4	令和元年5月19日（日）	紙粘土で作る松花堂弁当（27人参加）
5	令和元年6月15日（土）	クレヨンと絵の具の楽しい関係（13人参加）
6	令和元年6月16日（日）	クレヨンと絵の具の楽しい関係（24人参加）
7	令和元年7月20日（土）	シルクスクリーンで夏を遊ぼう（12人参加）
8	令和元年7月21日（日）	シルクスクリーンで夏を遊ぼう（11人参加）
9	令和元年9月14日（土）	ランプシェードをつくろう（3人参加）
10	令和元年9月15日（日）	ランプシェードをつくろう（22人参加）
11	令和元年10月19日（土）	麦のコースターを作ろう（15人参加）
12	令和元年10月20日（日）	麦わらですだれ作り（35人参加）
13	令和元年11月16日（土）	あおいパークでジャングルを描こう！（3人参加）
14	令和元年11月17日（日）	あおいパークでジャングルを描こう！（13人参加）
15	令和元年12月14日（土）	かんたんスタンドグラスを作ろう（14人参加）
16	令和元年12月15日（日）	かんたんスタンドグラスを作ろう（20人参加）
17	令和2年1月18日（土）	新春、お目出度い絵を水墨画でかこう！（9人参加）
18	令和2年1月19日（日）	新春、お目出度い絵を水墨画でかこう！（17人参加）
19	令和2年2月15日（土）	七宝体験！！バスツアー（18人参加）
20	令和2年3月14日（土）	※コロナウイルス拡大防止対策のため中止
21	令和2年3月15日（日）	※コロナウイルス拡大防止対策のため中止

(イ) 夏休みワークショップ（対象：小学生、会場：創作室）（62人）

1	令和元年8月2日（金）	シーサーをつくろう（14人参加）
2	令和元年8月3日（土）	枝とひものまきまき造形（7人参加）
3	令和元年8月4日（日）	親子でまきまき造形遊び（対象：3歳から小学2年生とその保護者）（13人参加）
4	令和元年8月7日（水）	季節を感じて一紙粘土で和菓子を作ろうー（13人参加）
	令和元年8月22日（木）	風で動く彫刻（15人参加）

(ウ) びあじ（美術館あそび実験室）（284人）

（対象：3歳以上の子どもと大人、会場：創作室、館内）

1	平成31年4月28日（日）	土であそぶ！（53人参加）
2	令和元年5月26日（日）	土であそぶ！（49人参加）
3	令和元年6月23日（日）	土であそぶ！（39人参加）
4	令和元年7月28日（日）	せんであそぶ！（29人参加）
5	令和元年8月25日（日）	せんであそぶ！（29人参加）
6	令和元年9月22日（日）	せんであそぶ！（18人参加）
7	令和元年10月27日（日）	ウソ？・ホント？～小さなわたしの大冒険～（16人参加）
8	令和元年11月24日（日）	ウソ？・ホント？～小さなわたしの大冒険～（9人参加）
9	令和元年12月22日（日）	ウソ？・ホント？～小さなわたしの大冒険～（10人参加）
10	令和2年1月26日（日）	もじ・もじ・ファクトリー（16人参加）
11	令和2年2月23日（日）	もじ・もじ・ファクトリー（16人参加）

(エ) 出前講座（創作）

実施日	令和元年6月11日（火）～令和元年12月4日（水） 延べ9日
対象	新川小2年生全クラス（124人）・4年生全クラス（140人）・6年生全クラス（128人）・特別支援学級（15人）、中央小4年生全クラス（95人）・特別支援学級（14人）、大浜幼稚園年少・年中・年長親子（162人）延べ678

	人
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・新川小2年生 「おいしいおべんとう」何色の器に入れると料理が映えるか考えてもらい、紙粘土でお弁当作りを行いました。各自で持ち寄った弁当箱に入れ、色のバランスなど見ながら盛り付けました。 ・新川小4年生 抽象表現について大まかに理解してから、各自で選んだ写真の輪郭線を自由になぞり、切り抜きをしました。その型を用いて版画板にトレースし、版画下書きを作りました。 ・新川小6年生 水墨画を鑑賞し、特徴を話し合ったあと、お手本をもとに筆づかいや墨の付け方を工夫しながら描きました。 ・新川小特別支援 クレヨンやパステルの違いを知ってから、クレヨンによるスクラッチ・転写技法を体験し、丸型を用いてパステルで描きました。 ・中央小4年生 陽刻と陰刻の違いについて学んだあと、版画板を固定し三角刀で直線や曲線を彫る練習をしました。 ・中央小特別支援 つち粘土で羽や頭などをつけ鳥のかたちにししました。後日素焼きにして完成させます。 ・大浜幼稚園年少親子 ダンボールに飾りつけたクリスマスリースを作りました。 ・大浜幼稚園年中親子 ミニタイルを使ったツリーを作りました。 ・大浜幼稚園年長親子 キラキラしたガラス絵を作りました。

(オ) 出前講座 (鑑賞)

実 施 日	令和元年11月20日(水)～令和2年2月18日(火) 延べ13日
-------	----------------------------------

対 象	中央中3年生1クラス(34人)、新川小1年生全クラス(129人)・3年生全クラス(137人)・5年生全クラス(151人)、棚尾小6年生全クラス(93人)、中央小4年生全クラス(95人)、日進小2年生全クラス(51人)・3年生全クラス(58人)・4年生全クラス(49人)・5年生全クラス(53人)・6年生全クラス(63人)、鷺塚小1年生全クラス(83人)・2年生全クラス(119人) 延べ1,115人
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・中央中3年生 中学最後の美術の授業としてアンドリュー・ワイエス《1946年の冬》の絵を皆で読み解きながら、大人として自立していく意味を考えました。 ・新川小1年生 香月泰男の作品《楽隊》を鑑賞し、楽隊の鳴らす音楽をイメージしました。また、作品《北へ西へ》にまつわる紙芝居を聞かせ、平和を願う作者の心情を掘り下げました。 ・新川小3年生 八島正明の作品を鑑賞しながら意見を出し合ったあと、紙芝居で作家が影をモチーフに描くきっかけとなったエピソードを学びました。 ・新川小5年生 大島風物図屏風のレプリカを皆で鑑賞したあと、グループでミニチュアの屏風を作り、構造を理解しました。 ・棚尾小6年生 当館の収蔵作品を鑑賞しながら遠近法を学びました。学校の教室や風景も遠近によって、色や形が違って見えることを学びました。 ・中央小4年生／日進小2～6年生／鷺塚小1・2年生 たちカード(鑑賞用補助教材)を使ったカードゲームを通して、作品の見方を深める授業を行いました。

(カ) 実習生受入れ

実 施 日	令和元年8月20日(火)～8月24日(土) 5日間
実 習 生	名古屋学芸大学メディア造形学部映像メディア学科4年 始め7名
内 容	博物館法に則った学芸員としての専門的実務実習を行いました。

(キ) 美術館見学

実 施 日	令和元年9月19日(木)
-------	--------------

対 象	大浜小学校 2年 30名
内 容	児童に美術館の仕事や施設の案内を行い、2年生生活科「町たんけん」の授業に協力しました。

(ク) その他

実施日	令和元年 8月 2日 (金)
内 容	碧南高校生 2名をインターンシップ受け入れ (ワークショップ手伝い)

実施日	令和元年 7月 21日 (日)、8月 2日 (金)、3日 (土)
内 容	教諭 1名を 10年目研修で受け入れ (ワークショップ手伝い)

実施日	令和元年 10月 10日 (木)
対 象	碧南市教育委員会
審査員	大長悠子 (当館学芸員)
内 容	碧南海浜水族館写生大会の審査

カ 保存・修復

(ア) 美術館生物生息調査

調査期間	令和元年度 通年
調査場所	美術館全館
調査内容	粘着式トラップによる歩行性虫生息調査
調査結果	展示室及び収蔵庫での生息や発生は現在確認されていません。今後も清潔な環境維持に努めます。

(イ) 収蔵庫環境調査

調査期間	令和元年 9月 11日
調査場所	収蔵庫前室・1・2
調査内容	粘着式トラップ及びフェロモントラップによる害虫生息調査、浮遊真菌測定、床・壁面の付着真菌測定、浮遊粉塵数測定を行いました。

(ウ) 保存箱及び汎用額作成

実施期間	令和元年 9月
------	---------

対 象	箱の付属しない陶磁器作品を中心とした計 32 作品
内 容	現状で箱等の付属していない作品の保存のために桐及び中性紙による保存箱を作成しました。

実施期間	令和 2 年 3 月
内 容	貴重かつ繊細な作品の展示及び保存のため汎用額 12 点を作成しました。

(エ) 作品等保存修復処置

対 象	伝伊藤若冲作品 1 点、山中信天翁作品 10 点
内 容	扇子の要部分が欠落しているもの計 11 点を修理し、構造を回復させました (委託)。

(オ) 収蔵作品燻蒸処理

実施期間	令和 2 年 1 月 28 日～2 月 4 日
対 象	平成 30・令和元年度収蔵の資料、保存木箱他
経 緯	寄贈作品にカビおよび虫害の発生がみられたために実施。
内 容	くん蒸作業専用車を手配し、エキヒューム S (酸化エチレン製剤/空間濃度 1.5%・36 時間処置) による燻蒸をおこないました (委託)。

キ 調査研究

(ア) 企画展図録等刊行・執筆

- ・『没後 60 年 北大路魯山人 古典復興 現代陶芸をひらく』図録
「年譜抄」(豆田誠路・三宅翔士)
- ・季刊 西三河の歴史・文化情報誌「みどり」107 号 (株)エムアイシーグループ編集室、2019 年 10 月 1 日)
- ・西三河の文化遺産/てこくま物語 (豆田誠路)
- ・『週刊 日本の城 改訂版』155 号 (ディアゴスティーニジャパン、2020 年 1 月 14 日) 大浜陣屋 (豆田誠路)
- ・『尾張・三河 明治の商店 絵解き散歩』(風媒社、2020 年 1 月 31 日)
共著 (豆田誠路)
- ・『空間に線を引く—彫刻とデッサン展』図録

エッセイ「等価な表面への意識」「作家・作品解説（分担）」（大長悠子）

(イ) 川崎市市民ミュージアム被災収蔵品レスキュー作業

全国美術館会議より派遣

- ・令和2年1月29日、30日 安藤里恵（当館学芸員）
- ・2月12日、13日 大長悠子（当館学芸員）
- ・3月9日、10日 北川智昭（当館学芸員）
- ・3月23日、24日（予定） 安藤里恵

ク 所蔵作品貸出

貸出作品	<ul style="list-style-type: none"> ・柳原義達《道標・鳩》 ・柳原義達《道標・鳩》 ・柳原義達《道標・鳩》 ・柳原義達《靴下をはく女》 ・原裕治《けもの道1》 ・原裕治《けもの道2》 計6作品
貸出目的	「空間に線を引く—彫刻とデッサン」展出品のため
貸出先	平塚市美術館（令和元年4月20日～6月9日） 足利市立美術館（令和元年6月16日～7月28日） 碧南市藤井達吉現代美術館（令和元年8月10日～9月23日） 町立久万美術館（令和元年10月5日～12月8日）
貸出期間	令和元年4月10日～12月12日

貸出作品	久野真《鋼鉄による作品 #252》
貸出目的	「久野真展 —Metal Work—」出品のため
貸出先	刈谷市美術館（令和元年7月23日～9月1日）
貸出期間	令和元年7月12日～9月4日

貸出作品	《てこくま物語》
貸出目的	「合戦図 —もののふたちの勇姿を描く—」出品のため
貸出先	徳川美術館（令和元年7月27日～9月8日）

貸出期間	令和元年6月27日～9月26日
------	-----------------

貸出作品	戸帳孤雁《猫》
貸出目的	「生誕140年・開館5周年記念 萩原守衛展」出品のため
貸出先	中村屋サロン美術館（令和元年9月14日～12月8日）
貸出期間	令和元年8月28日～12月19日

ケ 美術館駐車場用地取得事業

(ア) 目的

慢性的な駐車場の不足を解消し来館者の利便性・満足度向上を図るため、美術館南の用地を取得する。

(イ) 場所

碧南市音羽町1丁目28番 210.76㎡

詳細はP30「収蔵庫増設箇所、駐車場用地購入予定地 図面」のとおり

(ウ) 購入金額

7,692,740円（@36,500円/㎡）

(エ) 取得日

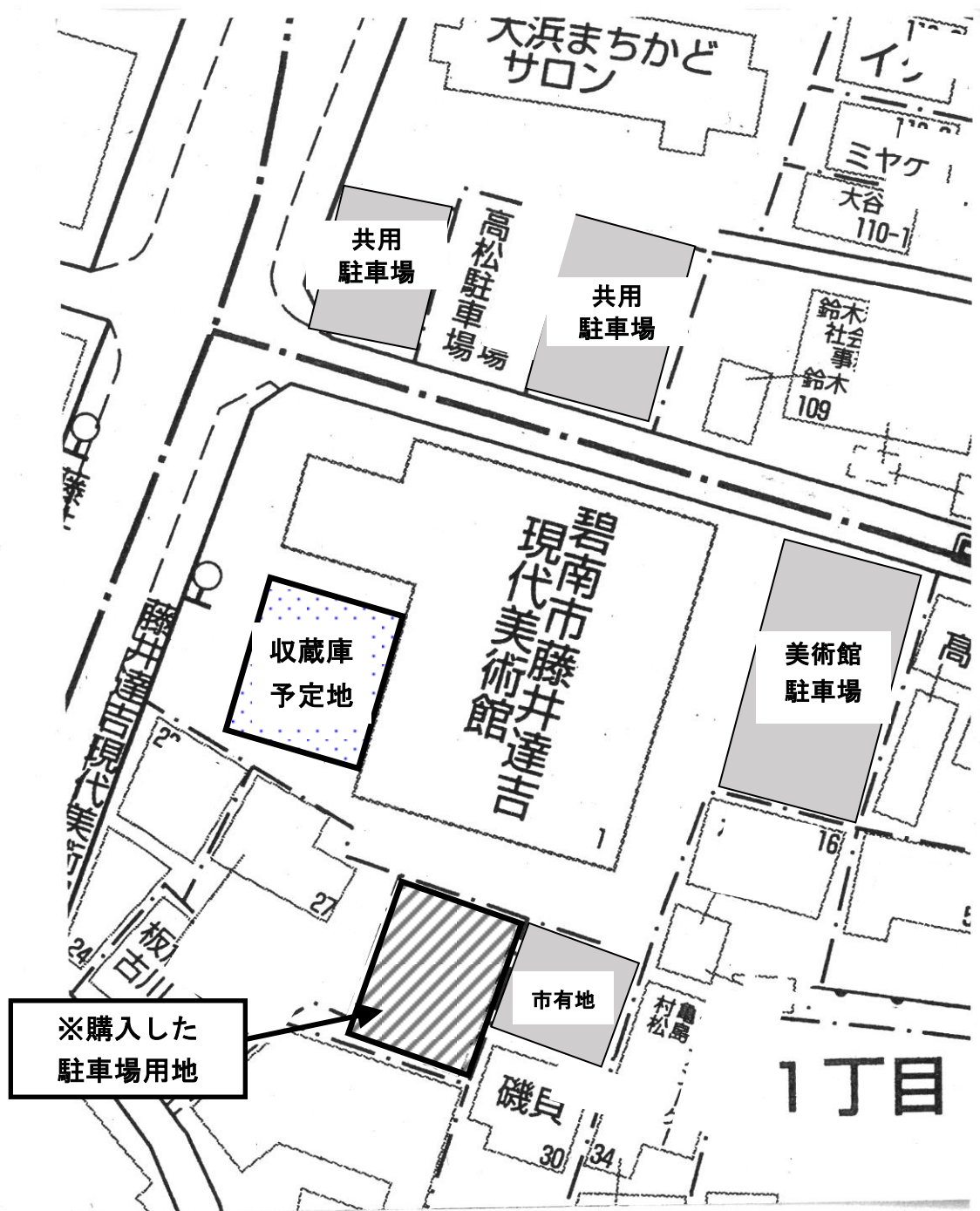
令和元年11月16日

※令和元年度の観覧者等実績

観覧者数計：57,088人（企画展：34,090人、常設展：16,801人、共催展等：6,197人）

教育普及：子どもWS351人、びあじ284人、出前講座1,793人

収蔵庫増設予定箇所、購入した駐車場用地 図面



(3) 令和2年度活動計画

ア 休館に伴い企画展等は不開催

収蔵庫等増設・施設改修工事に伴う休館のため、常設展、企画展等は開催しません。

イ 教育普及

市内小中学校への出前講座、市民の参加できるワークショップを開催します。

また、公募市民と一緒に美術館や周辺のまちの様子をお知らせする「ZINE（ジン：手作りの雑誌）」をつくる活動を新たにスタートします。

ウ 保存

館内の空気環境調査や文化財害虫生息調査を実施し、作品の安定的な管理に努めます。重篤な傷みのある作品に対しては順次修復を実施します。

エ 調査研究

藤井達吉及び藤井の同時代の美術を中心とした調査、ならびに各企画展実施に向けた調査研究を行います。

オ 所蔵作品管理

所蔵作品の内容、状態、画像等をすべてシステム化し、データ管理を進めます。

2 報告事項

(1) 令和元年度第1回、第2回収集部会の結果について

別添資料参照

(2) 入札工事不落札に伴うリニューアルオープン時期の延期について

当館は令和2年2月24日を最後に収蔵庫等増設工事のため休館に入り、令和3年10月1日のリニューアルオープンを目指して準備を進めてまいりました。しかし、昨年12月に行われた収蔵庫等増設・改修工事の入札におきまして、参加予定業者の辞退により不落札という結果となりました。

このことから、当初予定していた令和3年10月1日のリニューアルオープンは難しく、現在、令和4年5月のオープン（当初の予定から7か月遅れ）を目指し準備を進めています。

今後の予定につきましては判明次第、広報へきなん、ホームページ等を通じて情報発信してまいります。

●美術館施設整備

ア 収蔵庫等増設事業

(ア) 目的

平成20年4月5日の開館以来、寄贈や寄託等で所蔵作品数が増加し、収蔵庫内は飽和状態となっていることから収蔵庫を増設する。

(イ) 増設場所

P30 「収蔵庫増設箇所、駐車場用地購入予定地 図面」のとおり

(ウ) 増設部の施設概要（予定）

- a 階数 地下1階、地上3階
- b 構造 鉄筋コンクリート造（既存部と同じ）
- c 建築面積 増築面積144.24㎡（既存部820.36㎡、合計964.60㎡）
- d 各階の主な用途
 - 3階 収蔵庫
 - 2階 収蔵庫（展示室）、前室
 - 1階 搬入スペース（トラックヤード）、荷解室、倉庫、保存修復室
 - 地下1階 閉架書庫、空調機械室、館長室兼応接室
- e 各階の延床面積

階別	増築部分	既存部分	合計
屋上	—	19.39㎡	19.39㎡
3階	133.18㎡	361.56㎡	494.74㎡
2階	161.47㎡	671.59㎡	833.06㎡
1階	134.87㎡	671.68㎡	806.55㎡
地下1階	123.02㎡	657.76㎡	780.78㎡
合計	552.54㎡	2,381.98㎡	2,934.52㎡

イ 美術館改修事業

(ア) 目的

収蔵庫等増設工事による休館期間を利用し、施設の長寿命化、施設規模に合わせた適法化、美術館の魅力維持を図るための改修工事を行う。

(イ) 改修の概要

- a 温湿度対策、結露防止対策などのための修繕
- b 消防法適合のための消火設備工事

c 2階展示室入口に自動扉の設置など

ウ 収蔵庫等増設事業及び美術館改修事業の今後のスケジュール（予定）

令和2年度 6月議会で増設・改修工事費を補正予算要求

10月～ 収蔵庫等増設・改修工事

令和3年度 収蔵庫等増設・改修工事

令和4年度 5月頃 リニューアルオープン

※令和2年2月25日から令和4年度5月頃まで休館

収蔵庫完成イメージ図

